



小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

2024年度 第4回定例会 特集号 vol. 118

- 第4回定例会が開会：出席議員3分の2以上の同意が必要な新庁舎移転条例を上程～また市議会議員選挙が近づいて提案の議員定数削減条例と村山ひできの反対討論
- 村山ひでき一般質問：市民の役にたつ所の職場環境を考えよう（12月1日&3日）
- 小金井イベント情報：小金井ロータリークラブ「カレンダー交換会」（12月29日）

第4回定例会 開会中 11月28日～12月19日 特別多数議決が必要な新庁舎移転条例をついに上程

いつも市議選が近くなると提案される？議員定数条例を反対13：賛成9で否決

議員定数削減条例 採決結果

反対13

みらいのこがねい(岸田・沖浦・鈴木・村山)
共産党(水上・たゆ・森戸)
子どもの権利(片山・古畑)、こがおも(水谷)
生活者ネット(安田)、緑・つながる(坂井)
街の仲間たち(清水)

賛成9

自民党・信頼(五十嵐・河野・吹春・遠藤)
公明党(小林・渡辺ふき子)
子どもの権利(渡辺大三・高木) 参政党(斎藤)

※小金井市議会は現在23名(欠員1名)
※宮下議長(公明党)は採決には加わりません
※子どもの権利は採決態度が分かれませんでした

11月28日から第4回定例会が開会中です。前半会期では市議の数を24名から1名削減する議員定数削減条例に対し村山ひできは12月5日に会派みらいのこがねいを代表して反対討論を行いました。主な反対理由を下記に掲載しましたのでご覧ください。

また、後半の会期では、新庁舎等建設事業において今年2024年度から5年間の2028年度までの期間で支出する建設工事費130億円超が含まれる補正予算と、新庁舎の住所を中町3丁目19番16号に定める位置条例(=いわゆる新庁舎移転条例)が重要です。庁舎の移転には議長も含めた出席議員の3分の2以上の同意が必要な特別多数議決に該当するため、まだ可決されてはいませんが、上程されただけでも感慨深いものがあります。これらの2議案は、村山ひできが委員長を務める12月13日の庁舎建設等及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会で審査されますのでご注目ください。

議員定数削減条例に対する村山ひでき反対討論の要旨(12月5日:本会議)

1) どうして今？ なぜ来年3月の市議会議員選挙まで半年を切ったタイミングで議員提案？

本議員提案は9月26日に上程され、1回だけ議会運営委員会で審査されたのみであり、より議論を深め多くの議員の理解を得るための期間があまりにも短い。一方で直近の約8年間で議員定数については様々な動きがあり議論は尽くされたとの主張も少しは理解できる。しかし、今任期の約4年間での陳情、市民アンケート、公聴会の結果を踏まえて、直後のタイミングで改正条例を議員提案するならばともかく、2023年1月22日に開催された公聴会から6陳情第1号「市議会の議員定数に関する陳情書」が提出された2024年1月9日まで約1年間もあったのに、その間、議員定数削減を主張する会派は動かなかったのはなぜか？

2) どこまで本気なのか疑問！ 自民党・信頼の小金井は他会派の理解を得る努力をしていない！

今任期4年間の開始直後、会派みらいのこがねいは、議員定数と報酬に関する特別委員会の設置を提案した。自由民主党・信頼の小金井は特別委員会の設置は必要なく、議会運営委員会での議会改革の議論で足りるとの理由で設置に反対したのに、その後、議会運営委員会で提案もしていない。陳情審査の成り行きを見ていて、公聴会と市民アンケートがあったから動かなかったというのが公聴会と市民アンケートの実施は前期2年のことであり、しかも上記の通り、公聴会開催から6陳情第1号が提出されるまで約1年間もあったのに主体的に他会派へ働きかけなかった事実は重く、本気で実現させるつもりはなかったことは明白である。

3) 議員1名の削減は市民にとって本当に良いことなのか？ 市民が議会に求めていることは何か？

市民の声を拾って、たった1人の議員だけが主張する政策テーマがある。議員の削減は、広く市民の声や意見を拾い上げる芽を摘んでしまう可能性があり、議会による行政へのチェック機能の弱体化にもつながる。様々な立場、見方、経験をもつ多様な議員で構成される市議会のほうが市民の声を反映できる。また、市民は議会に対し「議員定数・報酬の検討」よりも、「市民の声が反映できること」や「行政への提案」、「チェック機能」を、より望んでいるという2022年9月上旬に実施された市民アンケートの結果を受け止めるべきだ。



日曜議会 15分+残 45分で一般質問(12月3日)

12月1日の日曜議会と3日の残時間における一般質問で、市職員の皆さんが、より市民のために集中して働きやすくなる職場環境をつくるべく、5つの提案を行いました。

1) 業務ミスの再発防止について

業務ミスの事例を庁内で共有できるシステムを作り、庁内の誰でも、いつでも閲覧可能とすることで再発防止に向けた「財産」にしていきたい。

2) カスタマーハラスメント対策と接遇力の向上

来年4月施行となる東京都カスタマーハラスメント防止条例の動向を注視しつつ、さらなる接遇改善に取り組むこと。

3) 全ての職員が育児休業を取得しやすい職場環境

特に男性職員の育休取得の促進に取り組むべき。イクボス宣言も雰囲気づくりに貢献していると評価する。

4) 地域と職場の安全管理

学校用務員を補充すること。避難所運営要員として重要な存在であり地域の安全を守ることもつながる。

5) 市職員による地域参画

地域に飛び出す職員を実現しよう！町会・自治会の活動を支援する地域担当職員制度の創設を求める。

小金井イベント情報

東京小金井ロータリークラブ主催 カレンダー交換会

日時:2024年12月29日(日)

午前10時から正午12時

※在庫なくなり次第終了

会場:多摩信用金庫小金井支店

駐車場 東側(本町2-5-4)

村山ひできも所属している東京小金井ロータリークラブによる年末恒例！来年のカレンダーや手帳の無料交換会です。どなたでも参加できます！是非ご来場ください。



村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩國哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)ジェイコム東京に入社
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェイコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
民進党の解党とともに無所属に
- 2021年 再選し現在4期目

《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井薪能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市商工会参与会 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局
- 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はげの自然を大切にすの会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004
小金井市本町 6-13-17
サンライズ 武蔵小金井 702
TEL 042-386-5543
FAX 042-386-5560
携帯 090-3428-2715

Eメール

hideki@murayama.tv

WEB サイト

<http://www.murayama.tv>

Twitter

@Murayama_Hideki

Facebook

<https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>